



なでしこ



令和6(2024)年 12月
学校だより 第8号
北区立なでしこ小学校
URL : <http://www.kita-ky.ed.jp/~es18>

本校の一層の大規模化に向けて～「なでしこスタンダード」の取組 校長 戸倉 務

10月31日、来年度の1年生を対象とする就学時健康診断を行いました。その結果、本校の新1年生は、およそ120人になることが分かりました。

これで、来春の卒業生の数から考えると、新年度の全校児童数は、700人を超えることがほぼ確実になりました。この8年間に児童数が約200人増えますが、これほどの急激な増加は昭和33(1958)年以來のことで、新校舎が落成した6年前でさえ、想定できなかったことです。今後も本校の児童数は増える見込みのため、数年後には区内で最も大きな小学校になるかも知れません。

学校規模が大きくなれば、当然教職員数も増えます。学校では、教職員がそれぞれの個性を発揮しながら、学校組織として一貫した教育活動を行っています。今後もますますその重要性は高まっています。

そこで、今後の一層の大規模化を踏まえ、学校生活の基本的なことについて、児童も教員も迷わず安心して取り組めるようにするため、なでしこスタンダード(全校で共通して指導する項目・下の表)を示して、レベルアップを目指しています。学校生活の基盤として全児童・全教員が気に掛けることで、どの学年・学級、どの指導場面でも、安定した学校生活を実現したいと考えています。

11月までの取組の振り返りを聞くと、児童の自己評価は高めですが、教員側からは、辛めの評価が聞こえてきます。あと4か月となった今年度末には、そろって高評価が得られることを期待しています。

なでしこスタンダード (全校で共通して指導する項目)

せい かつ 生活	レベル 1	レベル 2	レベル 3	がくしゅう 学習	レベル 1	レベル 2	レベル 3
A あいさつ	知っている先生・友だちにあいさつをします。	学校の中で会った人にいつでもどこでも元氣よくあいさつをします。	場や人に応じたあいさつをします。	A 準備	チャイムが聞こえたら、席に座ります。	授業が始まる前に、机の左側にノートや教科書をおきます。	時計を見て行動し、授業が始まる前に、着席をします。
B 言葉	嬉しかったり、助けてもらったときは感謝の気持ちを伝えます。	友だちや先生とその場に合ったいい言葉をつかいでかかわります。	相手を思いやる言葉をかけたり、良さを認める言葉をかけたりして、お互いを尊重します。	B 話す	「です」「ます」などのていねいな言葉で話します。	意見があるときは、静かに手をあげます。	指名をされたら、「はい」と返事をしてから話します。
C 後始末	使った物は、もとの場所にもどします。	使った場所は、もとよりもきれいにします。	留守にしている教室でも、しっかりとできていることが伝わる後始末をします。	C 聞く	話す相手に注意して聞きます。	話を最後まで聞きます。	相手の話したことに對して、反応します。

「新たな登校方法」の試行期間(10/15～11/22)が終わりました。

11月22日まで、新たな登校方法を試行しました。来年3月10日からの本格実施に向けて、今後も、道路のはじを歩くことや友達・家族とのおしゃべりに夢中にならないことなどについて、指導を継続していきます。試行期間中も期間後も、児童の登校の様子に気を配ってくださる保護者やボランティアの皆様、ありがとうございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

学芸会を終えて

学芸会委員長 久住 智子

3年に一度の学芸会。なでしこ小の児童はそれぞれの役を一生懸命に演じました。

1年生は、大きな声で、忘れることなく笑顔で台詞を言えました。

2年生は、自分たちで台詞を考えたり、体を動かして伝えたりと、たくさんの工夫をして表現しました。

3年生は、心を一つにするという目標を掲げ、葉っぱの動きで台詞のないモチモチの木を表現しました。

7組は、生活科の単元と劇をリンクさせ、楽しく学べる劇を、素敵なダンスを混ぜて演じました。

4年生は、100人の力を合わせて4年生らしさの元気が前面に出る素敵な劇でした。

5年生は、音響と動きのタイミングを合わせて台詞を言うなど難しくも高学年らしい舞台でした。

そして、6年生。声の大きさ、表情、全体の動きなどの演技だけでなく、道具の準備、照明など全員の団結した舞台を観せてくれました。下級生は、自分たちが6年生になったら今の6年生の様になりたいと憧れになる舞台でした。児童もこの学芸会を通して、成長できたと実感しています。この学びをこれからの学校生活に活かしていきたいと思います。衣装の準備やお子さんの体調管理など、たくさんのご協力ありがとうございました。

「寒いから風邪をひく」はホント？

養護教諭 吉田 紗也

いつも学校保健活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。これからの季節は、ウイルスが活発になるため感染症の流行が心配されます。しかし、とても寒い南極ではほとんど風邪をひかないと言われています。

風邪の原因はウイルスや細菌です。これらの病原菌が私たちの体内に入っても、口から肺の間にある粘膜が菌をつかまえ、線毛という器官で外に追い出してくれます。しかし、線毛には天敵がいます。それは「乾燥」です。

乾燥すると病原菌をとらえる粘液が減ってしまいます。また、くしゃみや咳症状等も増え飛沫感染のリスクが高くなります。つまり、冬は病原菌が体にたくさん入ってくるのに、線毛の働きは弱くなってしまいます。空気が乾燥する冬。手洗いうがい・休養の基本予防に加えて、水分補給や加湿もご家庭でご協力をお願いします。

学校感染症にかかった場合は出席停止となります。自宅で療養いただき、登校再開時に「学校感染症治癒報告書」を担任へ提出してください。（報告書は学校HPからもダウンロードいただけます。）

那須宿泊学習を終えて

7組担任 宮城 万里奈

10月24日、25日の2日間、7組の4・6年生で那須宿泊学習に行ってきました。赤羽小学校、浮間小学校、桐ヶ丘郷小学校の4・5・6年生の友達と一緒にきました。那須宿泊学習に向けた事前学習では、元気プラザにて入浴学習に取り組んだり、4校で各学校の紹介やレクリエーションなどの交流学習を行いました。

1日目は、那須どうぶつ王国に行きました。名物のバードショーを見学し、鷲や鷹など鳥たちが大空を舞う姿に圧倒されました。その後は各校ごとにお弁当を食べたり、園内を散策したりしました。宿泊先のしらかば荘では、夜にキャンプファイヤーを行いました。燃え上がる炎の周りで歌を歌ったり、レクを楽しんだりしました。バイキングの食事、温泉の大浴場など日常とは異なる環境で過ごし、子どもたちはワクワクしていました。

2日目は、りんどう湖ファミリー牧場に行きました。決められた金額の中でお土産を買ったり、アトラクションに乗ったりしました。時間内に回れるよう、みんなで話し合い、計画を立てました。

東京よりも那須の方が暑い！と感じてしまうほど天候に恵まれた2日間でした。家族の元を離れて過ごした子どもたちにとって、貴重な経験となりました。担任一同、子どもたちのキラキラした笑顔、成長する姿を見ることができ、非常に嬉しく思います。那須宿泊学習で学んだことを今後の生活や学習に生かしていきます。

